

Panasonic[®]

取扱説明書

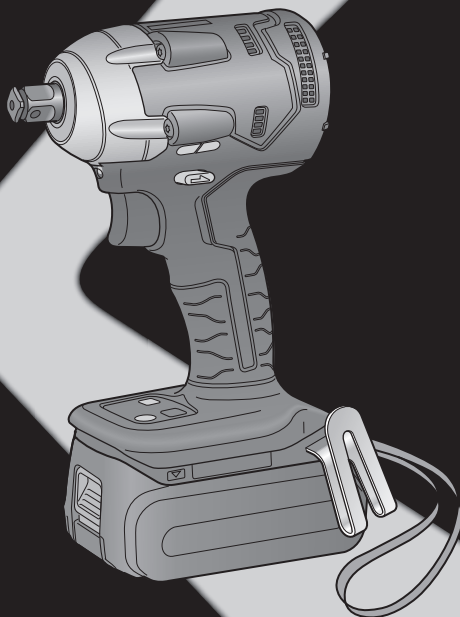
充電 インパクトレンチ<プロ用>

品番

EZ75A8LJ2G

EZ75A8LJ2F

EZ75A8X



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保管用

保証書別添付

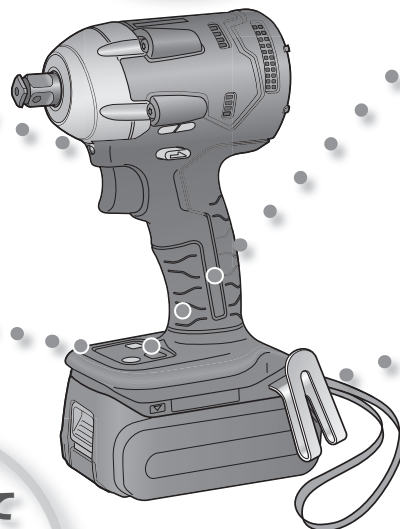
作業場所を照らす
LEDライト
P21

適応用途
／**作業量**
P27

選べる
打撃モード切替
P19

本体や電池パックの
状態がわかる
お知らせランプ
P17

必要に応じて
別売品
P13



**リチウム
イオン電池**
P25

困ったとき
故障かな？
P30

もくじ

安全上のご注意.....	4
ほこり・水についてのご注意	10
各部のなまえとはたらき	11

充電する	14
準備	16
作業	20
作業終了	22
使いこなし	23

お手入れ	24
保管	24

電池パックについて	25
締付トルクについて	26
能力	27
仕様	29

故障かな？と思ったとき	30
ご愛用者登録について	34
保証とアフターサービス	35
・お客様ご相談窓口のご案内	35

ご使用前に

使いかた

お手入れ・保管

お知らせ

点検方法

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険



禁止

当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いをしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるような作業はしない。
- 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
- 当社製商品以外で使用しない。
- 分解、修理、改造をしない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
- 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
- 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
- 劣化した電池パックは使用しない。
- 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
- 腐食性のガスのある場所で使用しない。

発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。

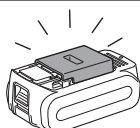
濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



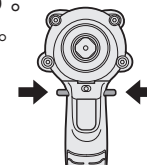
必ず守る

- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付け。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



警告

- 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。
- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。



- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。



必ず守る

- 作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。
埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。

- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

- 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

警告



必ず守る

- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
守らないとけがをするおそれがあります。
- 作業する場所は十分に明るくする。
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
- 加工するものはしっかり固定する。
不意に動き、けがをするおそれがあります。
安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。
- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっていないか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。
そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
- 換気のよくない場所で充電しない。
- 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。
- 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。
発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。
身体に害を及ぼすおそれがあります。
- 本体または充電器の風穴をふさがない。
やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

警告



禁止

- 本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。
- 作業直後はビットホルダー、ビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。



分解禁止

- 改造はしない。また、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがのおそれがあります。
修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

- 充電工具は、下記のような取り扱いをしないでください。
- 雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。
- 水に浸かるような使用をしない。
発煙、発火、破裂のおそれがあります。



電源プラグを抜く

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

注意



禁止

- 指定された用途以外に使用しない。
けがをするおそれがあります。
- LEDライトを懐中電灯として使用しない。
十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
- LEDライトの光を直接目に当てない。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。
- 使用中は巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。
回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- 子供の手の届くところに置かない。
事故やトラブルのおそれがあります。



⚠ 注意

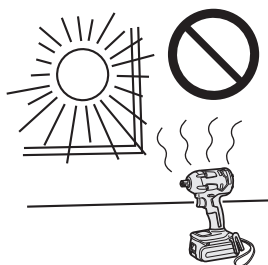


禁止

●本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。
本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。
また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

●使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。
不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。

●本体を、50℃以上になる場所に保管しない。
動作異常のおそれがあります。



●無理な姿勢で作業をしない。
転倒してけがをするおそれがあります。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

●疲れている場合は使用しない。
事故やけがのおそれがあります。

●子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。
けがのおそれがあります。

●金属への穴あけには、使用しない。
高トルクのため金工ドリルの刃先が欠けて、けがのおそれがあります。

●引掛フック使用時は、先のとがった先端工具などを取り付けけない。
けがの原因になります。

●引掛フック使用中は、体を激しく動かさない。
本体落下による事故のおそれがあります。



必ず守る

●本体落下防止のため、吊りひもに手を通して使用する。
●引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定する。
守らないと本体落下による事故のおそれがあります。

●電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。
守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。
守らないとやけどをするおそれがあります。
複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。

●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。

●使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。
守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。

●ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書にしたがい確実に取り付ける。
確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。
先端工具は必ずピンとゴムリングで固定して使用してください。
先端工具がはずれて落下するおそれがあります。

●調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。
守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。

●作業する場所はきれいに保つ。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

●髪や衣服、アクセサリなどが巻き込まれないような服装で作業する。
守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

●取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。

●屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。
守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
使用前にコードの破損が無い点検してから使用してください。

●刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。
破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。

●屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。
守らないと滑ってけがの原因になります。

ほこり・水についてのご注意

- 本製品はほこりや水に対する影響が小さく抑えられるように設計されていますが、ほこりや水によって故障しないことを保証しておりません。取り扱いに注意してください。過度なほこりがあるところ、水中、雨にさらされる場所では使用しないでください。
- 通常の使用において発生する製品または材料の欠陥に起因する故障のみ保証対象となります。改造、事故、誤用、本体内部への液体・異物混入、乱用、設置における無視、不適切な調整、不適切なメンテナンス・補修、取扱説明書に準じない使用は、保証対象外です。（保証対象・期間につきましては、保証書をご確認ください。）
- 工具本体に電池パックを装着した状態で、国際規格(IEC60529)に規定されたIP56の保護等級に要求される試験を認証機関Intertekで実施し合格しております。

<IP保護等級の例>

IP5X	じんあいの侵入を完全に防止することはできないが、電気機器の所定の動作及び安全性を阻害する量のじんあいの侵入がないように配慮しています。 (直径75 μm未満のタルク粉が工具内部に侵入する条件)
IPX6	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けないように配慮しています。 (内径12.5 mmの注水ノズルを使用して、約3 mの距離から約100 L/分の常温の水道水を約3分間注水する条件)

各部のなまえとはたらき

本 体

リテーナリング

出力軸

P18参照

LEDライト

P21参照

スイッチ

P20参照

風穴

正逆切替スイッチ

P18参照

位置合わせマーク
(電池パック用)

引掛フック

P23参照

吊りひも

操作パネル

LEDライト設定ボタン

P21参照

打撃モード切替ボタン

P19参照

部材に応じて打撃モードの切り替えが可能

打撃モード表示ランプ

P19参照

設定された打撃モードを表示

高温お知らせランプ

P17参照

モータまたは電池パックが高温になったことをお知らせ

電池残量表示ボタン

P17参照

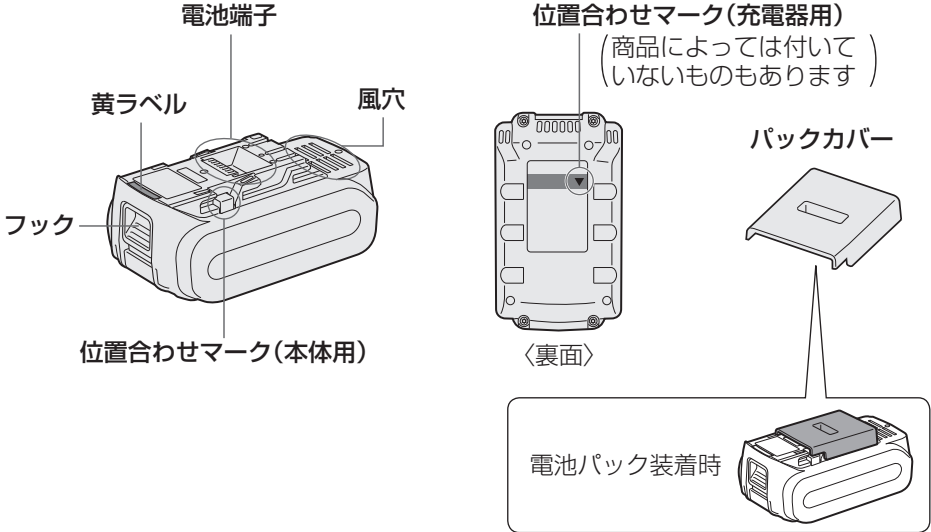
電池残量表示ランプ

P17参照

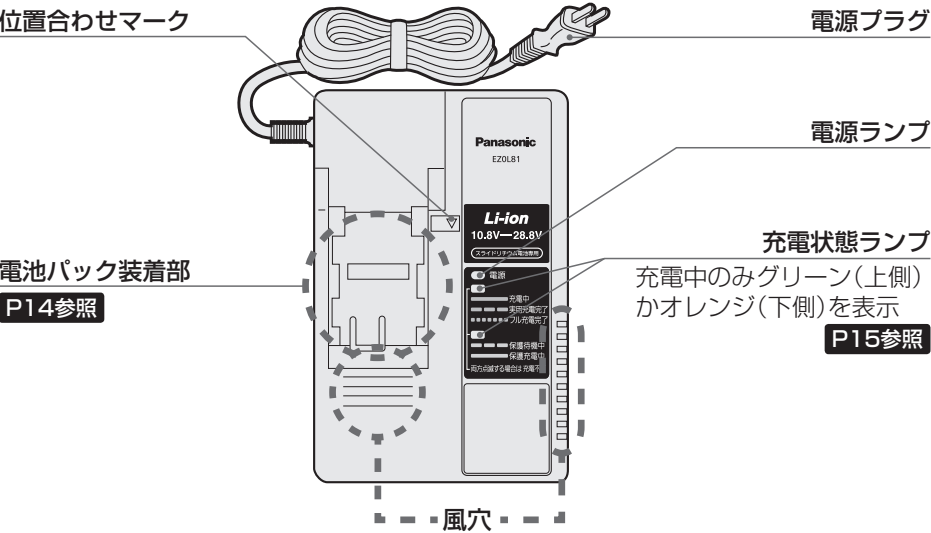
各部のなまえとはたらき(つづき)

ご使用前に

電池パック (EZ75A8Xには付属していません)



充電器 (EZ75A8Xには付属していません) P14参照



付属品・別売品

商品	付属品			別売品の有無
	EZ75A8LJ2G	EZ75A8LJ2F	EZ75A8X	
バックカバー	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○ EZ9L80R2788(※)
充電器	○	○	—	○ EZ0L81
電池パック (リチウムイオン電池)	EZ9L54 ○ (2個入)	EZ9L48 ○ (2個入)	—	○ EZ9L54(18 V) EZ9L53(18 V) EZ9L51(18 V) EZ9L48(14.4 V) EZ9L47(14.4 V) EZ9L46(14.4 V) EZ9L45(14.4 V) EZ9L42(14.4 V)
ケース	○	○	—	○ EZ9646
両頭プラスビット#2 ⊕65mm	—	—	—	○ EZ9BP221 (2本組)
ビットピース	—	—	—	○ EZ574B7817(※)
ソケットアンビル (ゴムリング・ピン付)	—	—	—	○ EZ9HX131
ドリルチャック (木工穴あけ専用) φ1.5～φ10 チャックハンドル付	—	—	—	○ EZ9780
カラビナ対応 フック	—	—	—	○ EZ9X015

● 深さアジャスター(EZ9770)は、本体には取り付けできません。
※補修用部品としてお問い合わせいただけます。

ご使用前に

充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

充電の前に

充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。

電池パックの温度が0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。 **P35参照**

お知らせ

- 電池パックの温度が-10℃～0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P15参照**
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も電源ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

電源ランプ▶点灯

2 電池パックを充電器に装着する

- ①位置合わせマークを合わせて差し込む
- ②底に当たったら矢印の方向に引く

充電状態ランプ▶充電状態を表示

P15参照

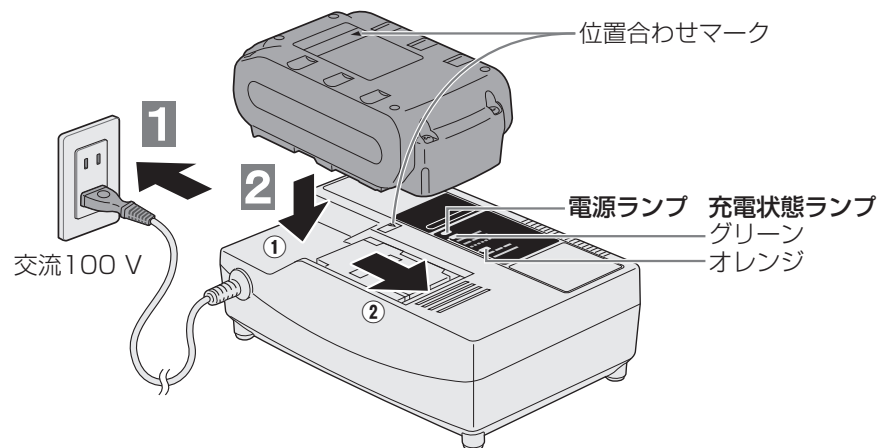
実用充電とフル充電について

実用充電:フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。

フル充電:実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は **P29参照**

3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く



充電状態ランプの見かた

——— 点灯 - - - 遅い点滅 速い点滅 ——— 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
———	———	充電中
- - -	———	実用充電完了
.....	———	フル充電完了
———	- - -	保護待機中* 電池パックの温度が高いとき(60℃以上)、または低いとき(-10℃以下) ▶電池パック保護のため、充電は行ないません。 ▶温度が高いとき:電池パックを冷却後、充電します。 ▶温度が低いとき:電池パックの温度が上がった後に、充電します。 (充電器が0～40℃の場所に設置されていることを確認してください)
———	———	保護充電中* 電池パックの温度が低いとき(-10～0℃) ▶電流を下げて電池パックにやさしく充電します。 (0℃以下の電池パックを充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)
.....		充電不可 電池パックの故障 ▶別の電池パックに交換してください。

※電池パックの温度が-10℃～0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。

警告

- 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。
- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

作業中に、正逆切替スイッチの操作をされる場合はモータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。
- 使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。
不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たって、けがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
- 本体落下防止のため、吊りひもに手を通して使用する。
また、高所作業の時は下に人がいないことを確かめる。
本体落下による事故のおそれがあります。

注意

- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないように使用する。
熱風によるやけどのおそれがあります。
- 本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

本製品を長く使っていただくため、以下のような保護機能を搭載しております。

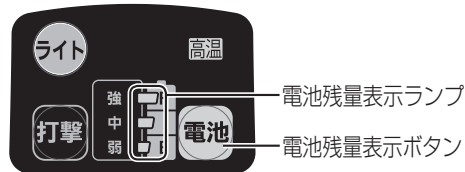
本体(操作パネル)の表示	状態	考えられる原因	処置
高温お知らせ 	点灯	モータが高温になっている。	作業を中断し、約30分以上放熱させ、高温お知らせランプが消灯してから使用してください。
電圧低下お知らせ 	点滅	電池パックが高温になっている。	すぐに電池パックを充電してください。
過負荷お知らせ 	点灯と点滅	電池残量が少なくなっている。	すぐに電池パックを充電してください。
		本体や電池に高い負荷がかかっている。	負荷を取り除いてください。

※1、2 高温保護機能は夏場は動きやすく、また冬場は動きにくくなります。
高温保護機能は高温によって故障しないことを保証しておりません。

※1、2、3 高温保護機能や過放電防止機能がくり返し働くような作業は行なわないでください。

電池残量表示機能について

操作パネル



電池残量表示ボタン「電池」を押している間、電池残量を3段階で表示します。
電池残量表示ボタンから指をはなすと、打撃モード表示に切り替えます。

次の場合は、電池残量表示ボタンを押しても、ランプが表示されません。

- 本体の電源がOFFになっている。
 - 電池パック装着直後。
 - 約5分間スイッチや電池残量表示ボタンを操作しなかったとき。
 ➡一度スイッチを引いた後、再度、電池残量表示ボタンを押してください。
- 電池パックが高温になっている。
 - ➡作業を中断し、電池パックの温度が下がってから操作してください。

電池残量表示	残量の目安
	3本点灯 充分残量があります。
	2本点灯 約半分程度残量があります。
	1本点灯 残量が少なくなっています。 早めに充電してください。
	3本点滅 全く残量がありません。 すぐに充電してください。

- 電池残量表示は目安です。電池パックの状態や周囲温度などにより、表示内容が変化することがあります。

作業前の準備

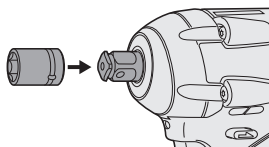
1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



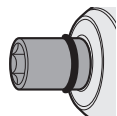
2 ソケット・ビットを取り付ける

■ソケット(またはソケットアンビル)の場合

①ソケットのゴムリングとピンをはずす。

②ソケットを本体に差し込む。
(互いの穴の位置を合わせてください)

③①と逆の手順でピンとゴムリングを取り付ける。

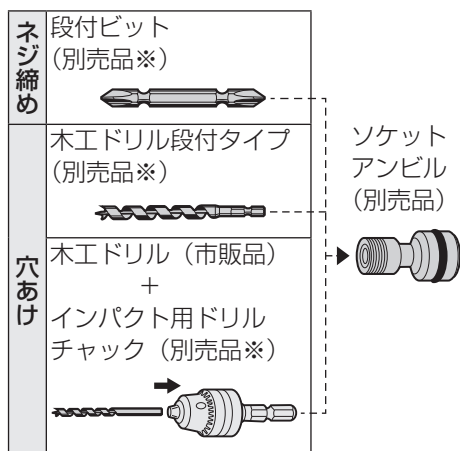


- ピンが抜けないように必ず、ゴムリングをはめてください。

リテーナリング(Cリング)は仮固定用です。
ソケットは必ずピンとゴムリングで固定してください。

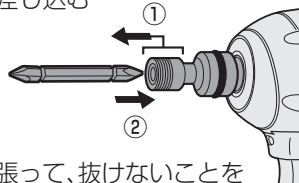
■ビットの場合 P23参照

- 別売品ソケットアンビルを装着することでドライバーとしてお使いいただけます。



※別売品または市販品をお使いください。

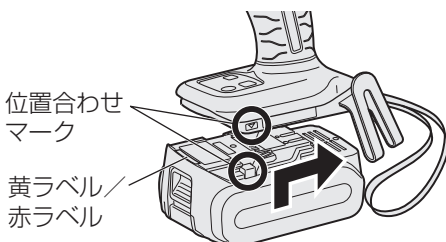
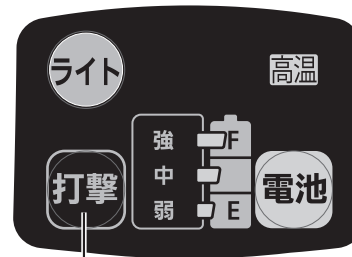
- ①ビットホルダーを引っ張りながら
- ②ビットを差し込む



- 軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

3 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。

4 必要に応じて打撃モードを切り替える
(打撃モード切替機能)

押すたびに
強 → 弱 → 中

の順に切り替わる

- お買い上げ時の設定: 「強」

操作パネルの機能について

操作パネル内のすべてのランプが消灯しているときは、電源がOFFの状態です。
スイッチを引いて一度動作させてから操作してください。

- 次の場合、電池の消耗をおさえるため電源がOFFの状態になり、LEDライトとすべての表示が消えます。

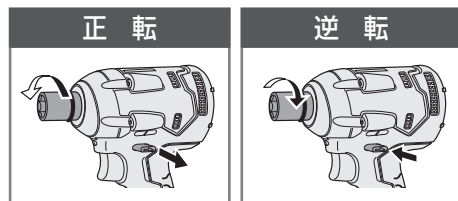
- 電池パック取付直後
- 約5分何も操作しなかったとき

お薦め作業目安

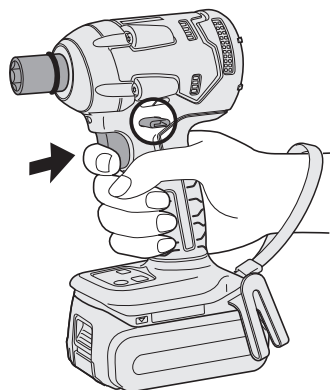
打撃力表示	最大打撃数		お薦め作業
強 	14.4 V	約3400回/分	ボルト破損・ネジ折れ・ネジ頭飛ばしなどの心配が少なく、力が必要な作業。 (最大締付力で作業できます) ・M12以上のボルト締付 ・造作時の長いネジ締め…等
	18 V	約3600回/分	
中 	14.4 V	約2900回/分	ボルト破損・ネジ折れ・ネジ頭飛ばし・ビット折れなどの心配があり、力を抑えて行なう作業。 (締付力を抑制) ・M10程度の比較的細い径のボルト締付 ・器具取付時の金工ネジ締め…等
	18 V		
弱 	14.4 V	約1900回/分	ボルト破損・ネジ折れ・ネジ頭飛ばし・ビットはずれや締めすぎによる化粧材への傷付けなどの心配があり、力を抑えて行なう作業。 (締付力を抑制) ・M10より細く折れやすいボルトの締付 ・プラスチックへのネジ締め ・石コウボード貼り作業…等
	18 V		

作業する

1 正逆切替スイッチで正転／逆転を決める



正逆切替スイッチの操作は
● モータが停止してから行なってください。
完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。



2 スイッチを入れる

- スイッチを引き込むにしたがって回転数上がる。
(センター決めの際は、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなす(スイッチ切)とブレーキが作動。

- スイッチ引き込み操作時に回転の立ち上がりが一瞬遅れる場合がありますが故障ではありません。
- スピードコントロールを使って低速回転で作業中、モータのロックによる故障を防ぐために、出力が自動的に若干上昇する制御が働く場合があります。
小さなネジ締めなど、微調整が必要な作業をする際にはご注意ください。
- スイッチを連続5分間引き続け回転させた場合、電源自動停止機能が働き、本体が自動的に停止し、電源OFF状態になります。
- 電池残量が少ない状態で起動すると、電池残量表示ランプが点滅せずに動かなくなる場合があります。電池残量が不足していますので、電池パックを充電してからご使用ください。
- ボルトやネジが締めきった状態から繰り返しスイッチを引き込むことはなるべくさけてください。
時々回転開始が遅れたり、保護機能が働き(電池残量表示ランプの一番下が点灯、残りのランプが点滅)、回転しない場合があります。
- リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0℃～40℃です。
寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。
このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

● EZ9L42は10℃以下になると作業条件等により性能がいちじるしく低下します。

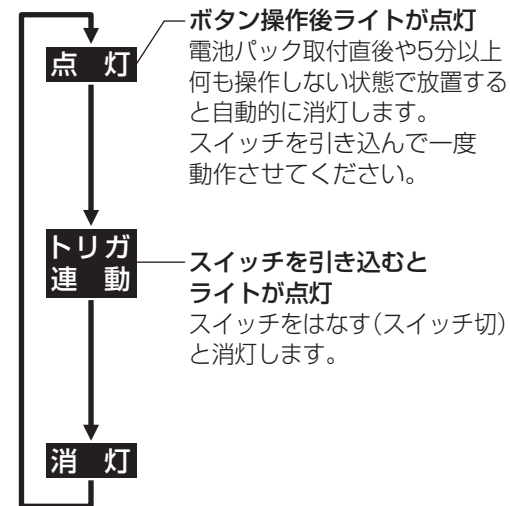
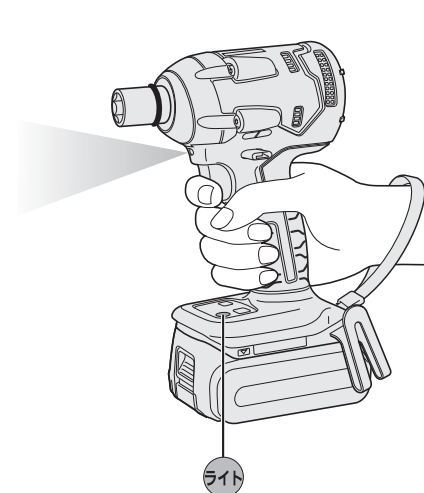
LEDライトの使いかた

奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

注意

- 懐中電灯としては使用しない。
- 十分な明るさを確保していないのでこのLEDライトを使って暗い場所を移動しない。
事故のおそれがあります。
- LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てない。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

LEDライト設定ボタン^{ライト}を押してライトの点灯状態を設定する



- LEDライトは微小電流で点灯します。
本体作業能力にはほとんど影響ありません。

作業が終了したら

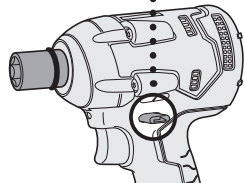
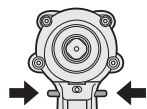
警告

- 作業直後はビットホルダー、ビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。

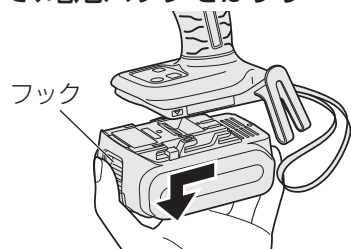
1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

1 中央

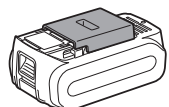
スイッチロックの位置



2 フックを引ながら電池パックを本体前方にスライドさせて、電池パックをはずす

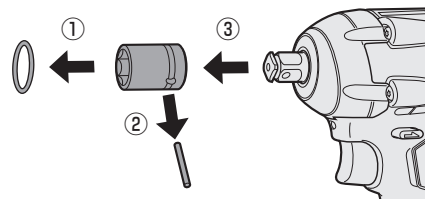


- 電池パックを本体から取りはずしたら電池端子部分への塵・埃の付着防止のため、すみやかにパックカバーを取り付けてください。

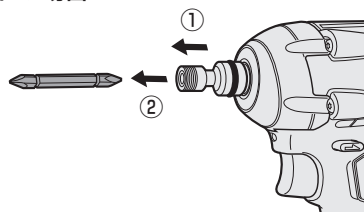


3 ソケット・ビットをはずす

■ソケット(またはソケットアンビル)の場合



■ビットの場合



引掛フックを使う

注意

- 引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定する。
- 引掛フック使用中は、体を激しく動かさない。
本体落下による事故のおそれがあります。

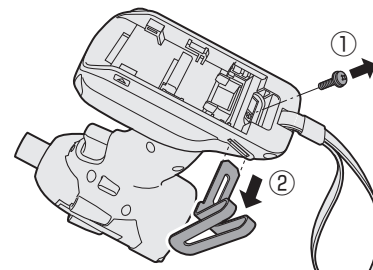
引掛フックの左右の付け替え



引掛フックは、左右どちらでも取り付け可能。

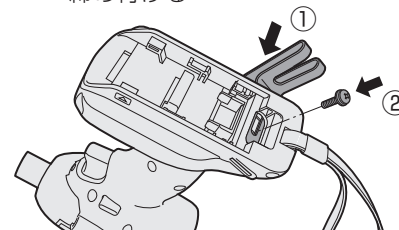
1 引掛フックを取りはずす

- ①止めネジをはずす
- ②引掛フックを引き抜く



2 反対側に取り付ける

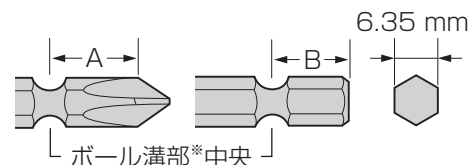
- ①引掛フックを反対側に差し込む
- ②止めネジを最後までしっかりと締め付ける



- 引掛フックが抜けたりゆるみがないか確認してください。

別売品を取り付ける

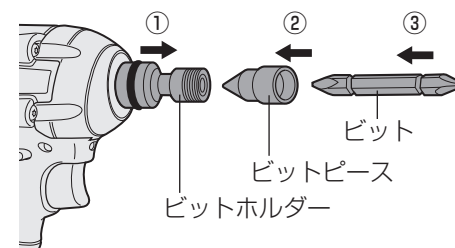
ビットの寸法と本製品への取り付けの可否



※ボール溝部のないストレートのビットは使用できません。

AまたはBの長さ		使用の可否
13 mm	○	使用可
11.5 mm	×	使用不可
9 mm	△	ビットピース(別売)が必要です。

ビットピースの取り付けかた



お手入れ

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)

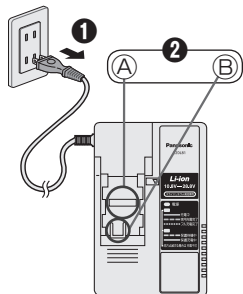


定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが破損していないか定期的に点検してください。

充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

① 電源プラグをコンセントから抜く



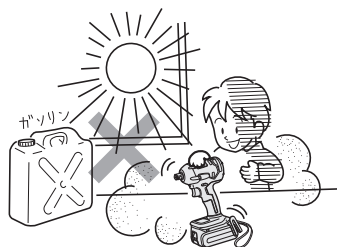
② 電池パック装着部のゴミを取り除く

- カバーを押さえて端子④と⑤を露出させ、ゴミを取り除く。
④: ブラシなどで端子に無理な力がかからないように取り除く。
⑤: 布などで取り除く。

保管

以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所

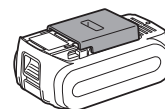


⚠ 危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付け。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずに保管してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためバックカバーを取り付けてください。



- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

電池パックの寿命

寿命の目安／処置

フル充電しても初期の半分程度の作業し
かできないときは製品寿命です。
当社充電工具専用の電池パックをお買い
求めください。当社指定以外の電池パック
を使用された場合の事故・故障については、
一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換し
たりサイクル修理品の電池パックは使
用しないでください。事故や故障のお
それがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているリチ
ウムイオン電池は、リサイク
ル可能な貴重な資源です。
ご使用済み電池パックは再利
用しますので廃棄しないで
買い求めの販売店へお持ちください。(電
池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁
テープを貼ってください。)
※EZ75A8Xは電池パックを付属してい
ません。ご使用の電池パックに応じたり
サイクルをお願いいたします。



本製品の使用電池

- 名称: 密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧: 3.6 V
- 数量: EZ9L54 10本
EZ9L48 8本

電池パックを使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用前に	フル充電

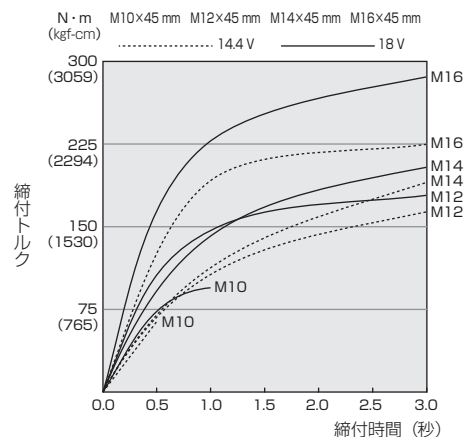
締付トルクについて

ボルトの締付時間とトルクの関係

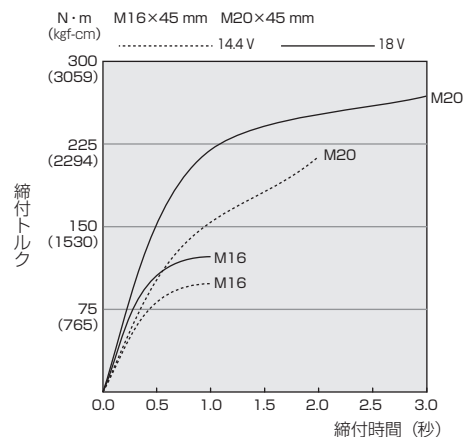
ボルトの締付時間により、締付トルクは下図のように変化します。

(下図は締付条件による参考値)

高力ボルト

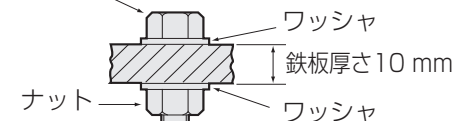


普通ボルト



(締付条件)

- ①部材
ボルト 普通ボルト: 強度区分 4.8
高力ボルト: 強度区分 12.9



- ②フル充電の電池パックを使用

ボルトの締付トルクに影響する要因

ボルトの締付トルクは下記要因により変化します。

1) 締付時間

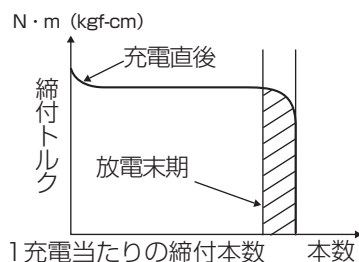
締付時間が増加すると締付トルクもある一定の値まで増加します。

2) ボルト

- ボルトの径: 一般に径が大きくなると締付トルクが増加します。
- トルク係数(ボルトメーカーで表示)、等級、長さなど。

3) 電池パックの充電状態

- 放電末期になると、締付トルクが急激に低下します。



4) その他

- ビット、ソケットの状態: 材質、ガタなど。
- ユニバーサルジョイント、ソケットアダプターの使用。
- 使用者: ボルトへの工具の当てかた、工具を保持する強さ、スイッチの引き具合。
- 締付物の状態: 材質、座面仕上がり。

能力

適応用途

普通ボルト	M10~M20
高力ボルト	M10~M16

締付トルク

<□12.7ピンタイプソケット使用時>

最大締付トルク	14.4 V	260 N·m(2651 kgf-cm) 測定条件: M20・高力ボルト3秒締付時
	18 V	280 N·m(2855 kgf-cm) 測定条件: M20・高力ボルト3秒締付時

作業量

<1回のフル充電による使用能力>

●EZ9L54、EZ9L48使用時/周囲温度20℃
数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。
また、締付本数は締付時間が長くなると少なくなり、短くなると増えます。

ボルト締め(適正締付トルクまで締め付けた時の作業本数)

ボルトの種類	ボルトの寸法	材 料	締付本数	
			EZ9L54	EZ9L48
高力ボルト	M16×25 mm	鉄板 (厚み10 mm)	約350本	—
	M12×25 mm		約470本	約380本
普通ボルト	M16×25 mm		約1900本	約1200本

本体

モータ電圧	DC14.4 V	DC18 V
打撃数	強:約0~3400回/分 中:約0~2900回/分 弱:約0~1900回/分	強:約0~3600回/分 中:約0~2900回/分 弱:約0~1900回/分
回転数	強:約0~2300回転/分 中:約0~1500回転/分 弱:約0~1000回転/分	強:約0~2500回転/分 中:約0~1500回転/分 弱:約0~1000回転/分
質量(重量)	EZ9L48装着時:約1.7 kg	EZ9L54装着時:約1.8 kg
大きさ(概略寸法)	EZ9L48装着時: 全長143×全高241×全幅73(mm)	EZ9L54装着時: 全長143×全高249×全幅73(mm)
	電池パック最大幅75(mm)	
振動3軸合成値※1	12.8 m/s ² (EN60745-2-2規格に基づき測定)	

※1:『3軸合成値の取り扱い』につきましては、JEMA〔(社)日本電機工業会〕
ウェブサイト:<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

充電器(EZOL81)

電 源	AC100 V 50/60 Hz	消費電力	約198 W	質量(重量)	約900 g
-----	------------------	------	--------	--------	--------

充電可能な電池パック	電池パックの種類		リチウムイオン電池						
	電池電圧	28.8 V	EZ9L84	EZ9L82	EZ9L81				
	充電時間	実用	約45分	約30分	約27分				
		フル	約65分	約45分	約50分				
	電池電圧	21.6 V	EZ9L62			EZ9L61			
	充電時間	実用	約42分			約22分			
		フル	約55分			約41分			
	電池電圧	18 V	EZ9L54	EZ9L53	EZ9L51	EZ9L50			
	充電時間	実用	約40分	約40分	約48分	約37分			
		フル	約60分	約55分	約60分	約50分			
	電池電圧	14.4 V	EZ9L48	EZ9L47	EZ9L46	EZ9L45	EZ9L44	EZ9L42	EZ9L41
	充電時間	実用	約40分	約30分	約25分	約38分	約28分	約25分	約19分
		フル	約60分	約35分	約41分	約54分	約45分	約30分	約38分

- 充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
- 表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。
- 表中のEZ9L81・EZ9L61・EZ9L41は、充電器EZOL80でも充電できます。

故障かな？と思ったとき

下記の点検と処置をお願いします。

処置後なお異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
保証書と、本体・充電器・電池パックをお買い上げの販売店へご持参ください。
(詳しくは **P35参照**)

症 状	考えられる原因	処 置
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	別のコンセントで、充電する。 テレビ・ラジオから離して充電する。
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。 ゴミを取り除く。
	充電中に保護待機中の状態になる。 [*] (オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が60℃以上になっている。 電池パックの温度が-10℃以下になっている。 [*] 周囲温度が0～40℃の場所で充電する。 0～40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。 電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。

※電池パックの温度が-10℃～0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P15参照**

症 状	考えられる原因	処 置
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。 (高温お知らせランプ／電池残量表示ランプが点滅・点灯)	本体または電池パックが高温になり保護機能が働いている。 作業を中断し、本体または電池パックの温度が下がってから使用する。
	電池パックを充電していない。	充電する。 P14参照
	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。 (電池残量表示ランプの一番下が点灯、残りのランプが点滅)	モータに高い負荷がかかっているため、モータ過電流防止機能が働いている。 故障ではありません。 スイッチを入れなおすと正常な状態に戻ります。
	操作パネルのボタンを押しても操作できない。 (ライトが点灯しない)	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。 ゴミを取り除く。
		電池パック取付直後や、5分以上何も操作していない。 スイッチを引く。
		電池パック装着後、1回も作業していない。
		電池パックを充電していない。 充電する。 P14参照
	フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	電池パックが故障している。 新しい電池パックを購入する。 P13参照
		温度が低い場所(0℃以下)で保管した電池パックを使用した。 再度充電し、充電完了後に使用する。
	打撃モード切替が「弱」「中」になっている。	打撃モード切替を「強」にする。 P19参照

症 状	考えられる原因	処 置
操作パネルの表示が正しくない。	▶ 高圧線の近くなど、電磁波の影響をうけている。	▶ 故障ではありません。 ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。
スイッチを切ると、停止音をする。	▶ ブレーキの動作音です。	▶ 故障ではありません。
フル充電してもネジ締めの本数が少ない。	▶ 電池パックの寿命。	▶ 新しい電池パックを購入する。 P13参照
	▶ 冷えた電池パック(0℃以下)を充電した。	▶ 電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がってから再度充電する。
作業時	▶ 電池パックの寿命。	▶ 新しい電池パックを購入する。 P13参照
ネジが締めきらない。	▶ 電池パックの残量が少なくなった。	▶ 充電する。 P14参照
	▶ 電池パックを2か月以上放置していた／または購入したばかりである。	▶
通常動作はするが操作パネルの高温お知らせランプ／電池残量表示ランプが、すべて点滅する。	▶ 本体と電池パックの接点部にゴミが付着している。	▶ 本体と電池パックの接点部のゴミを取り除く。
	▶ 本体に電池パックが不完全に取り付けられている。	▶ 本体に電池パックを確実に取り付ける。 P18参照
ボルトやネジが締めきった状態から繰り返しスイッチを引き込んだとき、時々回転開始が遅れたり、電池残量表示ランプの一番下が点灯、残りのランプが点滅(回路保護)し回転しない。	▶ 打撃機構部に一時的に負荷が加わっているため。	▶ 故障ではありません。 ただし、モータに負荷が加わりますので、ボルトやネジが締めきった状態から繰り返しスイッチを引き込むことはなるべくさけてください。

症 状	処 置
その他 ●電源プラグをコンセントに差し込んでも電源ランプが点灯しない。 ●充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ●充電開始直後に充電状態ランプが点灯・点滅しない。 ●「保護待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ●「充電中」(グリーン:点灯)後、2時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 ●操作パネル上のすべてのランプ表示が点滅し、スイッチを引いても動かない。	▶ ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご持参ください。

ご愛用者登録について

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、便利なサービスを利用できます

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



ご愛用者登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。

※他の製品をご登録の場合、WEB サイトをご参照ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電 話	()	—		
お買い上げ日		年	月	日

●製品名	充電インパクトレンチ
●品 番	EZ75A8(LJ2G・LJ2F・X)
●故障の状況	できるだけ具体的に

修理を依頼されるときは

30〜33ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間・充電器6か月間(ただし、電池パック・ケースは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

[技術料] 診断・修理・調整・点検などの費用 [部品代] 部品および補助材料代 [出張料] 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 [5年]

当社は、この充電インパクトレンチの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などで困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

使い方・お手入れなどのご相談 [受付時間] 365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

フリーダイヤル パナは ネットク
0120-878-709
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
(番号を押しても案内が聴く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ライフソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

修理に関するご相談 [受付時間] 月~土/9:00~19:00
日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナニ イコー
0120-872-150
左記電話番号がご利用
いただけない場合
06-6906-1090

※ ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検	長年ご使用の充電器、充電インパクトレンチの点検を！	
	こんな症状はありませんか？	ご使用中止
	- 本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。 - 充電器のコードが損傷している。 - 動作中に異常な音が出る。	故障や事故の防止のため、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019

EZ901075A803 Y1017-2089